

話題の講義ライブ
LIVE 2012

Today's Program 臨床小児科学

OSAKA UNIVERSITY 大阪大学



医学部 保健学科

5.25.Fri. at Suita
13:00~14:30
永井 利三郎 教授



いつか自分が受け持つ 子どもたちの命を救うために

講義の流れ スライド映像などの資料を見ながら、子どもの病気とその治療方法について学ぶ。
醍醐味 子どもの発達の過程から、さまざまな疾患への対応、また新生児や未熟児などへの対応まで、子どもたちの命に直結する知識と技能が身につけられる。

日々、患者の命と向き合う仕事

100人ほどの学生が見上げる教室前方のスクリーンに、赤黒いレバーのようなものが映し出された。これは乳児の副腎に発生した腫瘍の写真です。こんなうづついものが2歳とか3歳の子どもの体のなかにできるんだから大変です。私が医者になつたばかりの頃は、このぐらいの腫瘍が見つかったらまず助からなかった。手術で取つてもすぐに再発していました。

次々と映される図表や写真を解説するのは、大阪大学医学部保健学科

看護学専攻で臨床小児科学を教える永井利三郎先生だ。永井先生は、大阪大学医学部を卒業後、国内外のいくつもの病院の小児科や研究所で医師として働いてきた。子どもの神経の病気を中心に研究を行いながら、現在も大阪府下の学校、保育園、養護学校や療育施設などと連携して、発達障害児やてんかん患者の生活支援のための活動を行っている。

「集学的治療」で 子どもの白血病も助かるように

本日の講義テーマは「血液と腫瘍」。子どもたちの命に関わる病の二大原因が、血液のガンである白血病と、内臓や脳にできる腫瘍だ。

「白血病は、小さな子どもがかかるガンの中でもっとも多い病気で、小児ガンのうち41%も占めます。それに次ぐのが肉腫で21%。子どもは細胞が元気で、増殖も早く、あつたという間にガンが体中に広がってしまふ。大人のガンとは全然違います。だから一日でも早く治療に当たらないといけません」

細胞の回転が早いというところは一方で、治療のチャンスも大きいことを意味する。「子どもは抗がん剤や放射線治療に対しての感受性が大人より高いので、早期発見できれば治癒できる確率はかなり高まります。以前は白血病と診断がつけ

目指すは 医療のプロフェッショナル!

骨髄移植では、その前に生体検査をすることが必須となる。この日の講義では、血液や腫瘍についての基礎知識と同時に、現場で働き始めたときに役立つ検査の知識も教えられた。

「造血機能を調べるための骨髄検査では、腰にある後腸骨稜に専用の針を刺して骨髄液を採取します。以前は胸の真ん中にある骨に刺していたんですが、深く刺さり過ぎると貫通してしまいがちなので、今では行われなくなりました」

学生たちは講義で学んだことを、3年から4年にかけて行われる臨地実習で実体験する。行き先は大阪大学の医学部附属病院をはじめとする医療現場だ。それまで学んできた理論や知識を、体験を通じて血肉とし、患者が何を求め



VOICES 学生の声 of University Students



山崎 明さん(左)
医学部 保健学科2年生
僕は一度、違う国立大学の文学部に入学し、3年生のときに中退して、大阪大学に入り直しました。そのきっかけは、自分の家族が長期入院したときに出会った、病院で働くプロフェッショナルな人々の姿に感動したこと。将来は自分も、ガンの治療をサポートする仕事に就きたいと思っています。

木村 有花さん(右)
医学部 保健学科2年生
私がこの学部を選んだのは、高校生のときにテレビドラマ「コード・ブルー」を見たことがきっかけです。現場にヘリコプターで飛んでいき緊急救命活動を行う「ドクターヘリ」の活躍に憧れて、「自分もフライトナースになりたい」と希望するようになりました。勉強は難しいですが、目標につながっているので苦にはなりません。



ながい としきぶ ろう
永井 利三郎先生
昭和49年 大阪大学医学部卒
昭和50年 兵庫県立西宮病院小児科
昭和53年 滋賀医科大学解剖学助手
昭和55年 カナダプリンスエドワード王子医科大学 精神科付属神経科学研究所勤務
昭和59年 兵庫県立西宮病院小児科医長
平成元年 大阪大学医学部小児科講師
平成7年 同助教授
平成8年 市立豊中病院小児科部長
平成14年 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 教授
平成18年 大阪大学医学部子どもの発達研究センター 教授兼任

大阪大学

資料の請求および
お問い合わせ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1 大阪大学学生部入試課
電話：06-6879-7097
メール：gakusei-nyusi-dai1@office.osaka-u.ac.jp

- 文学部
- 人間科学部
- 外国語学部
- 法学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 薬学部
- 工学部
- 基礎工学部

〔沿革・歴史〕

- 1724年 懐徳堂創設
- 1838年 適塾創設
- 1931年 医学部と理学部の2学部からなる我が国6番目の大阪帝国大学創設
- 1933年 工学部設置
- 1947年 大阪大学と改称
- 1949年 学制改革により理・医・工・文・法の5学部を設置一般教養部設置
- 1951年 歯学部設置
- 1955年 薬学部設置
- 1961年 基礎工学部設置
- 1967年 大阪大学医療技術短期大学部設置
- 1972年 人間科学部設置
- 1993年 医学部保健学科設置
- 2004年 国立大学法人に移行
- 2007年10月 大阪外国語大と統合し、外国語学部設置

〔オープンキャンパス情報〕

- 8月 6日(月) 人間科学部
- 8月 7日(火) 医学部(保健学科)、外国語学部
- 8月 8日(水) 法学部
- 8月 9日(木) 工学部
- 8月10日(金) 歯学部、基礎工学部
- 8月17日(金) 薬学部、理学部
- 8月21日(火) 医学部(医学科)、文学部
- 8月22日(水) 経済学部

※詳細は、大学ホームページをご覧ください。